

平成 25 年度

# 補正予算

今定例会では、小川町地域の元氣臨時交付金基金条例制定ほか2件と請願1件を審議し、請願を除きすべて可決・同意しました。  
なお一般質問では、8人の議員が当面する諸問題について町の見解や対応をただし、政策提言を行ないました。

## 〈主な質疑〉

### 元氣臨時交付金 どう使う

**問** 交付金額はどのくらいになるのか。  
**答** 金額は明示されていませんが、平成25年2月の臨時議会で議決していただいた事業が主な事業です。町負担分の7割から9割が交付されます。当町の財政力指数から一番少ない場合を考え、7割として予算計上しています。  
**問** 2年間の時限立法だが、事業総額は、平成27年3月までに使い切れない分は国に返すのか。

**答** 合算して2年間で4億5740万円です。そのうちの1億8620万円が平成26年度事業にいきます。使い切れない分は国に返還しますが、着実に使い切るよう単費として町負担分の2割に当たる金額を、財政調整基金から取り崩し、事業予算に計上しました。

### 地元経済に活用されているか

**問** 運用に当たって、経済の活性化や雇用創出の工夫がされているか。  
**答** 建設事業が対象です。地元事業者を活用し、入札などでも配慮します。

### ため池の耐震は

**問** 震災対策として、ため池の漏水点検があるが、点検箇所は何か所か。点検で不備が見つかった場合、緊急補助が受けられるのか。  
**答** 町内47カ所を予定。ため池の耐震診断が全国的にされています。不備が見つかった時点で対応しますが、まずは台帳整備を行ないます。



耐震診断が予定されているため池

### 西中学校の部室改築

**問** 西中学校の部室を改築するが、生徒の数も減っている。広さや部室数など考慮しているのか。  
**答** 老朽化し壁などが剥がれ落ちている現状で、使用が難しい状況です。今より約半分の面積で、部室の数は9室。現在の部活動の数に合わせてあります。屋外を中心としたクラブが使用します。

**問** 建設期間中の代替場所は。女子部員等の着替えに配慮されているのか。  
**答** 学校とよく相談し、生徒が困らないようにします。工期はそれほど長くかからないと聞いています。女子部員などに配慮し、仮設校舎や体育用具小屋、プールの更衣室建て替え時期をずらす等考えられます。

### 竹沢地区消防団詰所の改築

**問** 改築費として代替地購入の予算を計上しているが、出動に支障がない場所、距離など考慮しているのか。防災施設としての機能は、配慮されているのか。団員の意見や要望など考慮されているのか。  
**答** 現在の詰所からあまり離れていない竹沢の中心になる場所を、移転地として考えています。地元や団員の意見も考慮し、一定の広さを確保したいと考えます。モーターサイレンと自動のホースタワーを備えた施設にしたいと考えています。

### 備品購入の中身は

**問** 通級情緒障害学級備品購入の中身は。  
**答** 教室内で、子どもに適した空間をつくるためのクロスパネルの仕切り板購入費用です。

### 予算化の検討は

**問** 住宅リフォーム助成制度の予算化はされなかったのか。  
**答** 商工業・農林業の振興等さまざまな角度から研究しています。もう少し時間をいただきたい。

# 臨時議会

## 第2回臨時議会

平成25年4月18日開催

### 〈主な質疑〉 西中学校改築工事が本格化

**問** 議会の要望もあり、共同企業体方式、分離発注で地元業者が参入する機会が大きくなったという点では前進した。共同企業体といっても、損金が出た場合や保険など協定書で出資比率の少ない小規模の事業者が不利にならないよう、配慮が必要ではないか。  
**答** 十分配慮していきます。  
**問** 完成までの過程で、総合的な管理が重要である。準備や対応は万全か。  
**答** 現場確認・安全確認・定期打ち合わせ等を現場代理人・校長・教育委員会町担当者・管理業務者間で、より回数多く確認作業を行ないながら、事業はしつかり進めていきます。

## 第3回臨時議会

平成25年6月27日開催

### 〈主な質疑〉 職員給与の引き下げ

**問** 地方交付税の減額分の穴埋めのために、一時的とはいえ法律に基づかない給料の引き下げを職員に求めるのは、アンフェアではないか。職員の士気は落ちないか。地域経済にも影響は出ないのか。  
**答** 本来の給与改定は人事院勧告に基づき、職員組合との協議の上で決定します。本来の主旨と異なっていることは

### 議員も痛みを分かち合って7%削減

職員等の給与が削減されることから、議会としても痛みを分かち合うことが必要であるとし、議員報酬減額条例を議員提出議案として上程。職員等と同じく7月〜平成26年3月までの期間、議員報酬7%の削減案を全会一致で可決しました。

## 査 審 願 請

### 中止を国に要請する 年金2.5%の削減を求めるとする請願

請願者  
小川町大字大塚 1233-23  
全日本年金者組合  
小川町支部長 天田英男

審査結果  
厚生文教常任委員会に付託され、委員長報告は「不採択」でした。本会議での審査も、「不採択」となりました。